



夢風

YUMEKAZE

第116号(令和元年度 No.3)



みなさん、夢風ようこそ。

今号では、「^{インフィニティ}infinity～可能性の向こう側へ～」をテーマに、6月4日(火)から3日間の日程で行われた学校祭についてお伝えします。

「夢風」はWeb ページでも発信しています。 <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



ニュース
News



● 1日目(3年生舞台発表、文化部舞台発表)

1日目は、体育館で3年生と文化部による舞台発表が行われます。3年生は、高校生活最後の学校祭に特別な思いをもって臨みます。クラス演劇は、ミュージカルやオリジナル脚本など、バラエティに富んだ作品が揃い、全校生徒を楽しませてくれました。優勝は3年1組(保育・福祉・音楽プラン)の「SING」で、歌や楽器演奏を盛り込むなど、プランの特性を活かした作品でした。



学校祭は、文化部にとっても普段の活動の成果を発表する場です。箏曲、演劇、吹奏楽、合唱の各々が、美しい演奏や歌声、熱演を披露しました。

● 2日目(1・2年生クラス発表、文化部・委員会発表、有志発表、芸術鑑賞会)

午前は、1・2年生のクラス企画、文化部や委員会の企画発表です。1年生による展示部門は、元号が変わったことを意識したクラスが複数ありました。1年5組は先生方や保護者へのアンケートを基に平成の30年間を回顧したクラス企画で、立看板とあわせて2冠に輝きました。2年生はイベント部門です。工夫を凝らしたゲームやクイズに挑戦しようと、どのクラスの前にも長蛇の列ができていました。優勝は「一攫千金」(2年4組)で、教室内にカジノを再現して盛り上がっていました。





また、文化部や委員会企画も趣向が凝らされていました。メディアホールには書道、美術、茶華道部の作品が展示され、見応えがありました。途中、茶華道部のお茶席や家庭部が販売したスイーツを楽しみながら、各教室を回ることができました。

昼には、2年ぶりに有志発表が野外ステージで実施されました。2・3年生の5団体がダンスやバンド演奏などを披露し、歓声が沸き起こりました。

午後の芸術鑑賞会は、「セントラルジャズオーケストラ」の皆さんに来ていただきました。あまりジャズに馴染みがない生徒たちですが、ジャズの歴史についての解説もあり、実際に曲を

聞くと耳にしたことがあるフレーズが多く、自然と手拍子がおこりました。吹奏楽部有志とコラボレーションしたり、校歌をアレンジして演奏したり、生で聞くジャズの音色に体育館が一体となって大いに盛り上がりました。



● 3日目（体育的行事）

今年度は3年ぶりに順延することなく全日程を実施することができました。全校生徒が学年毎縦割りで橙、緑、紫、青、赤、黄の6団に分かれ、応援や競技の優勝を目指して競いました。



練習を重ねた応援アピールではどの団も振り付けや替え歌などさまざまな工夫をこらし、迫力ある応援を披露してくれました。部活動対抗リレーでは、仮装をしたりバトンの代わりに部活動で使用している物品を用いたりするなど、各部の個性が表出していました。また教員が参加したりリレーはとても白熱しました。

総合及び応援合戦で優勝を獲得した黄団の団長は、「最高の思い出をありがとうございます。黄団だったからこそ総合優勝ができました！」と、共に戦った仲間への感謝を語ってくれました。

仲間と協力して得た絆や思い出は、生徒にとって一生の宝となったはずです。連日天気にも恵まれ、非常に暑い3日間でしたが、全校生徒が輝く笑顔いっぱいの行事となりました。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



UNESCO Associated Schools

豊田東高校は、ユネスコスクールに加盟し、ESD（持続可能な開発のための教育）を推進しています。